

後発医薬品に関するアンケート 調査結果について

栃木県保健福祉部薬務課

概 要

1 調査の目的

昨今の後発医薬品製造業者等における、相次ぐ薬機法違反事例に伴う後発医薬品の自主回収・欠品・出荷調整等により、医療機関で必要な医薬品が提供できない状況が続いている。

そこで、医療機関の対応状況や今後の県の施策を検討することを目的に調査を実施。

2 調査対象

一般社団法人栃木県病院薬剤師会 会員薬剤師 (95施設)

栃木県内の薬局 (943薬局)

3 調査期間

令和3(2021)年11月19日～令和3(2021)年12月24日

4 調査方法

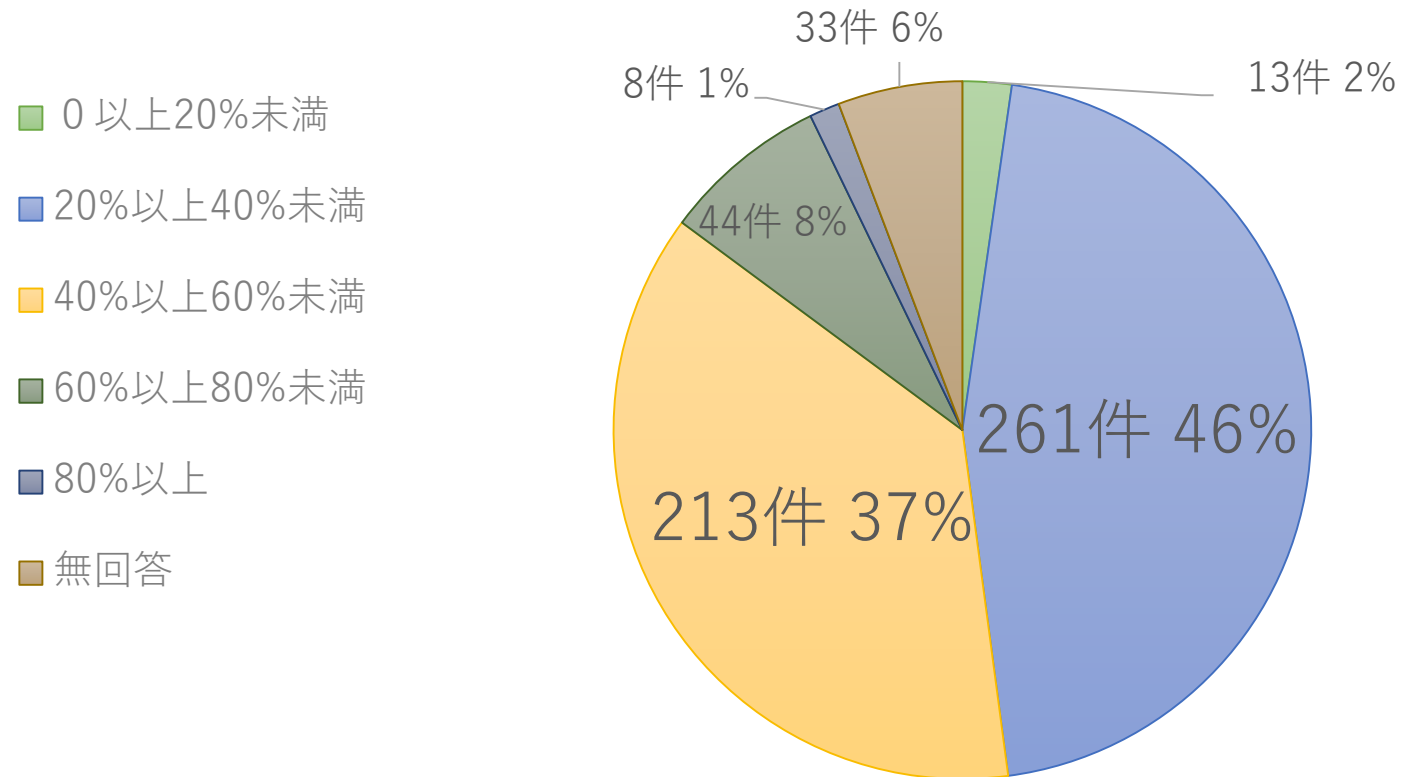
調査票により回答

5 回 答

回収数572 (55.11%)

1 採用している医薬品のうち後発医薬品の採用状況 (剤形や規格違いは別品目として計上) (回答数: 572医療機関)

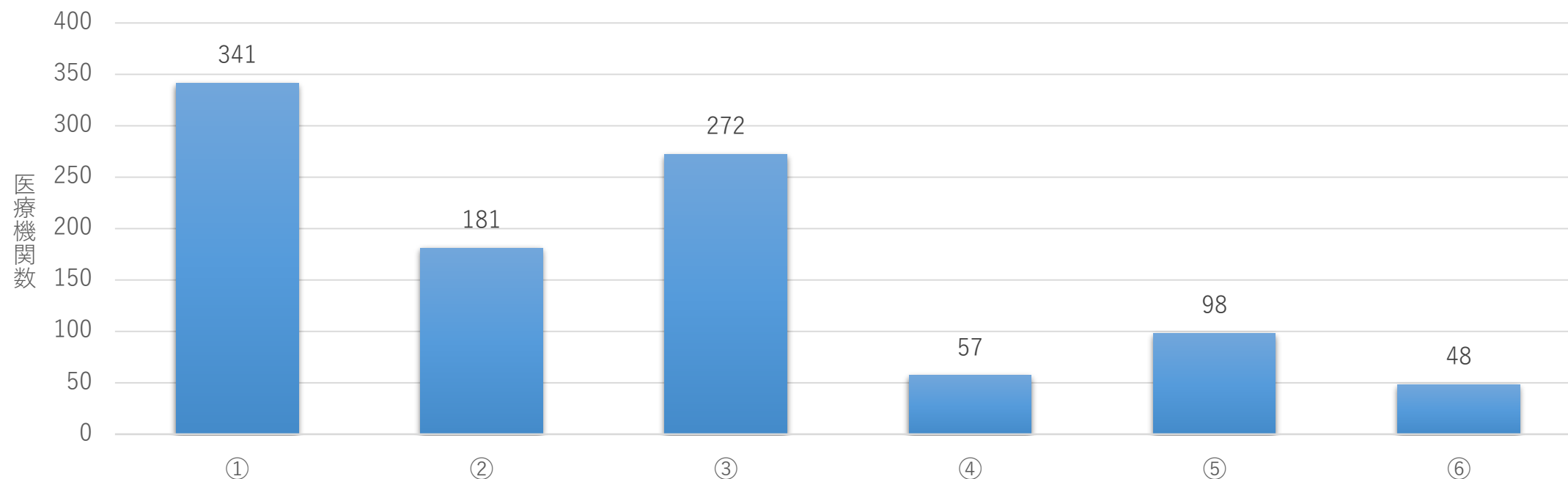
採用医薬品に占める後発医薬品の割合 (医療機関数, %)



2 入手困難となり対応に苦慮した後発医薬品 (最大5品目まで回答) (回答数 2,381件/572医療機関)

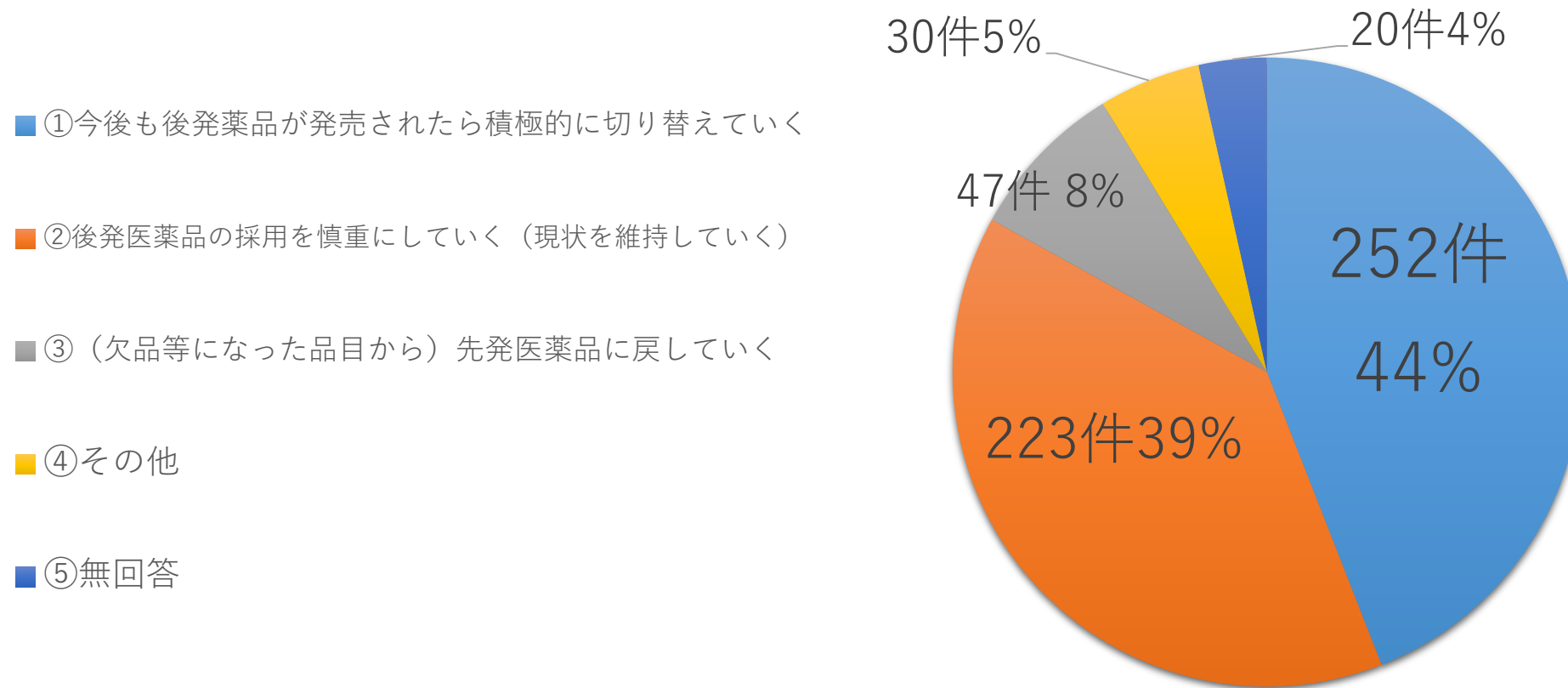
	一般名	先発薬 (代表薬剤)	適応	回答数	%
1	ビソプロロール fumarate 塩	メインテート	降圧薬	177	30.9
2	エルデカルシトール	エディロール	骨・Ca代謝薬	127	22.2
3	プラニルカスト水和物	オノン	アレルギー疾患治療薬 (気管支喘息薬)	123	21.5
4	ランソプラゾール	タケプロン	消化性潰瘍治療薬	120	21.0
5	バルプロ酸ナトリウム	デパケン	抗てんかん薬	118	20.6
6	オロパタジン塩酸塩	アレロック	アレルギー疾患治療薬	112	19.6
7	アルファカルシドール	アルファロール	骨・Ca代謝薬	93	16.3
8	カルボシステイン	ムコダイン	気道粘液修復薬	66	11.5
9	トリメブチンマレイン酸塩	セレキノ	上部消化管疾患治療薬	48	8.4
10	オメプラゾール	オメプラール	上部消化管疾患治療薬	36	6.3

3 代替品等への変更に対して、患者からの苦情等を受けたことがあれば教えてください（複数回答可）（回答数997件/572医療機関）



- ① いつもの医薬品から変更することに不安を持たれた
- ② 代替品への変更には納得したが、負担金額が変わることに不満を訴えた
- ③ 後発医薬品に対する不信感を訴えた
- ④ 薬剤師に対する不信感を訴えられた
- ⑤ 特に苦情等は受けていない
- ⑥ その他

4 今後、後発医薬品の採用品目数についてどのようにお考えですか（回答数572医療機関）



考 察

- 採用している医薬品に占める後発医薬品の割合が60%以上である医療機関は52件(9.6%)と少なかった。後発医薬品を使用促進するために、まずは医療機関で多くの品目を採用してもらうことから推進していくべきであるが、後発医薬品の採用を慎重にしていくと回答する医療機関は223件(39%)もあり、昨今の後発医薬品製造業者等における相次ぐ薬機法違反事例により、後発医薬品の使用促進を阻害する要因となっていることが考察される。
- 代替品等への変更に対して、患者から特に苦情等を受けていないと回答する医療機関数は98件(17.1%)と少なく、医療関係者と患者との信頼関係やコミュニケーションに悪影響を及ぼしていることも考えられる。
- 入手困難となり対応に苦慮した後発医薬品には、新型コロナウイルス感染症患者への治療に使用する医薬品や、重症化に関連する基礎疾患に使用する医薬品が含まれており、特に感染拡大期に医療機関がコロナ患者への治療に影響があったものと考察される。
- 今回の調査結果には、行政に実施してほしい事業等も多数意見をいただいております。今後とも、後発医薬品の安心使用促進に向けた更なる取組を実施していく。